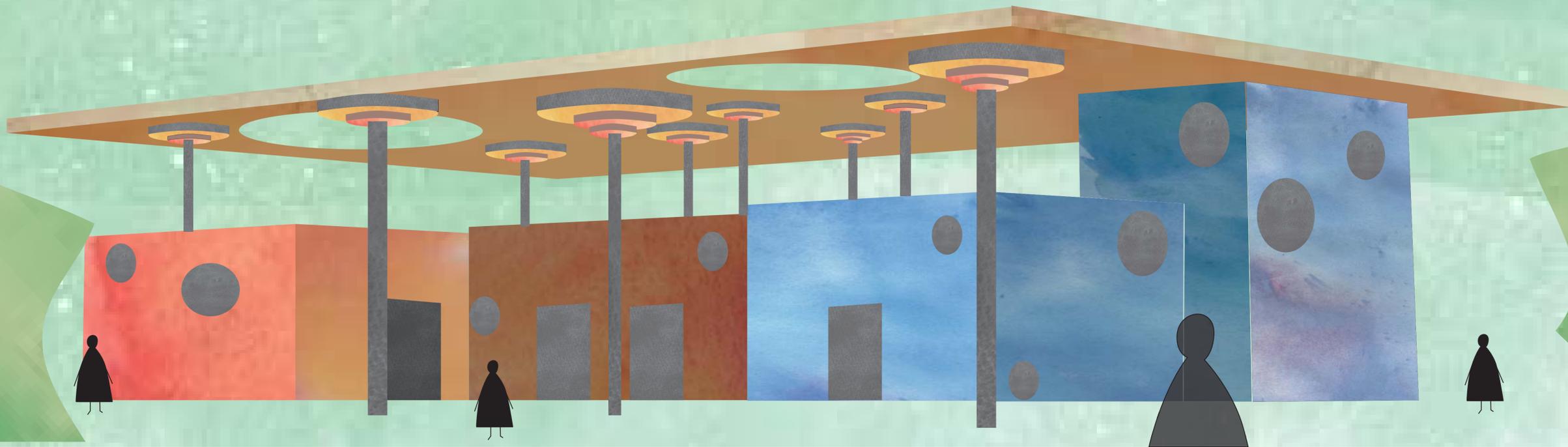


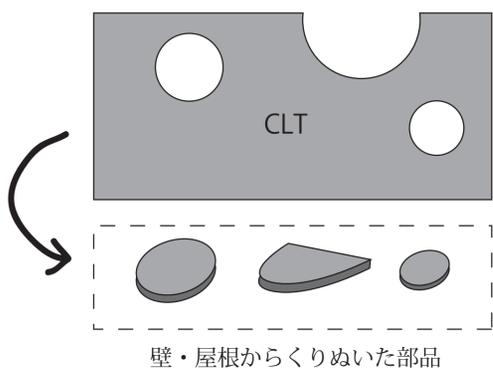
# もりのトイレ



## パズル

CLTは製材用には不向きなB材と呼ばれる木材が使用されており木材をたくさん、無駄なく活用しています。そんなCLTを建築で使う際も無駄なく、パズルのように端材を出さないように利用することでCLTの価値があがるのではないかと考えました。

あまった材料でトイレ以外の休憩所などの空間をCLTを使った椅子や机を用い、豊かで一般の方々ももっとCLTに触れることができる空間をつくります。



壁・屋根からくりぬいた部品



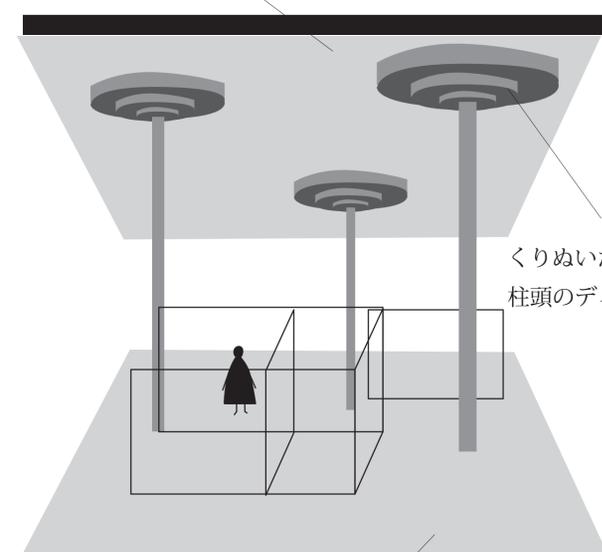
## フラットスラブ構造

大きなフラット屋根を一枚の大きな板でかける。その板は複数の柱と少しの壁で支えられています。

CLTというと、壁で囲われた壁式構造を連想しますが、CLTのフラットスラブ構造は壁や梁に妨げられない自由で開放的な平面の可能性があります。

柱頭には壁や屋根からくりぬいたCLTを応力分布状態に応じてディスクとして利用し、経済的で造形的な建築を実現させます。

CLTのフラットスラブ

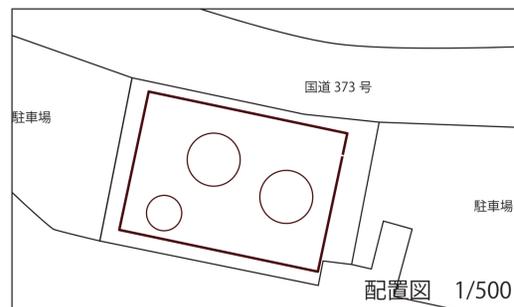


梁・壁にとられない自由な平面

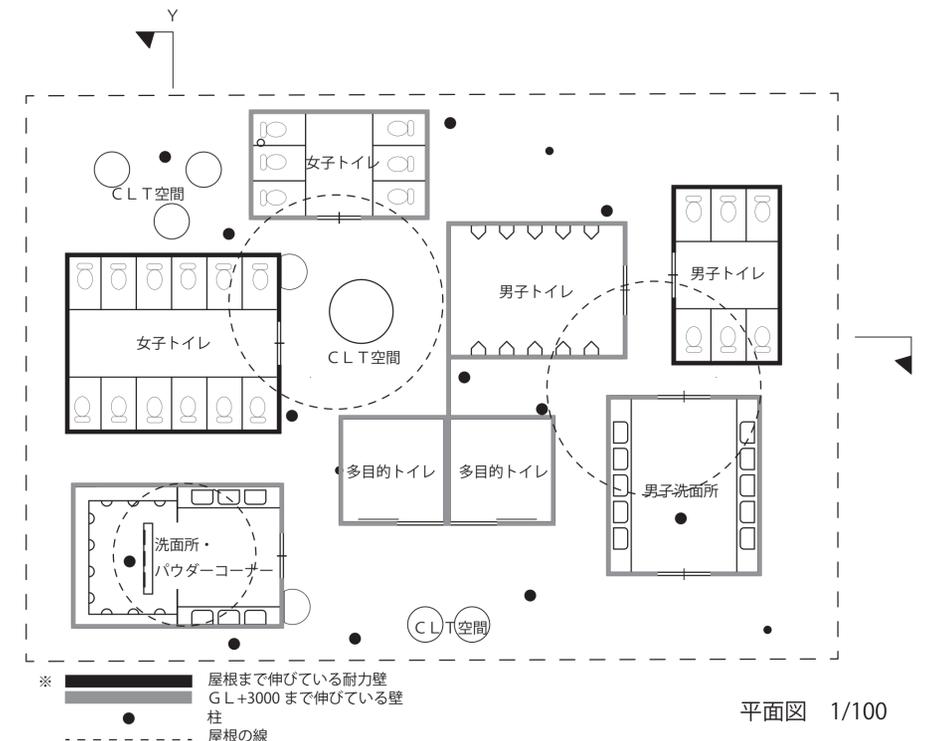
## 木造空間

大きな屋根にはところどころ光の穴をあける。その下のユニットにも穴をあけ、明るい空間にします。屋根の下の空間は柱と屋根の木材の温かみと、光の差し込みによって森のような安心できる空間になります。

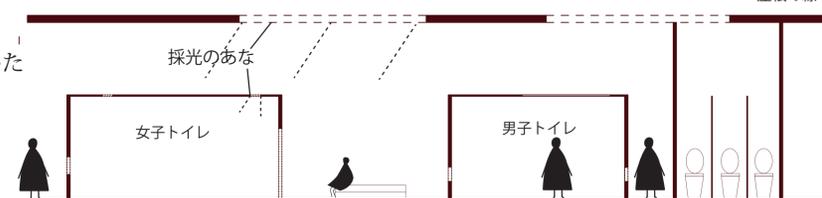
CLTの板は柱など関係なく窓を配置できるので、開きたいところに穴をあけることができます。



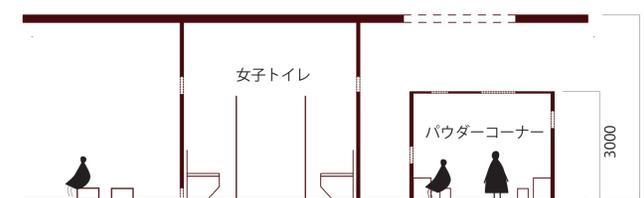
配置図 1/500



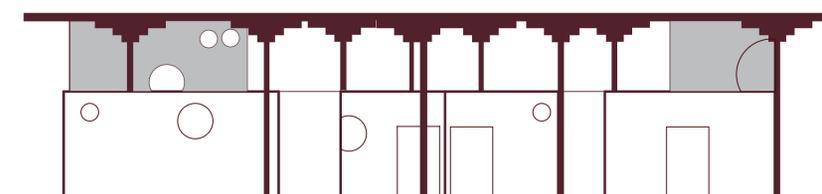
平面図 1/100



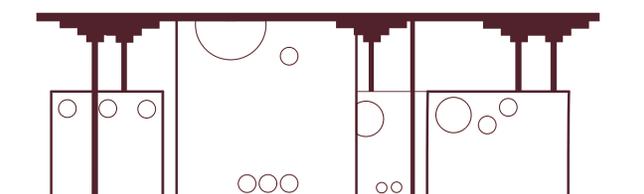
X断面図 1/100



Y断面図 1/100



立面図 1/100



立面図 1/100